

月日(日時)	／		／		／		／		／	
経過(病日等)	入院		手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	術後3～4日目	術後7～8日目	術後10日目	術後15日目
達成目標	◇不安なく手術を受けることができる		◇創部に問題がない					◇退院後の注意点がわかる		◇退院・転院準備が整う
			◇血圧・脈拍が落ち着いている					◇入院時と同じ又はそれ以上の日常生活動作ができる		(退院基準)
			◇創部の痛みがコントロールできる							・合併症の症状がない
			◇創部に負担をかけず動くことができる		◇日常生活動作が徐々に自己で行えるようになる					・日常生活動作が拡大出来る
	転院に向けての準備を始めます									
治療・薬剤 (点滴・内服)	飲み薬について確認します	医師が指示する薬のみ 内服します	翌日まで持続的に点滴をします	抗生剤の点滴があります						
処置	コルセットの確認をします	手術が2例目以降の方は 点滴をします	創部に管が入っています	コルセットは医師の指示まで着用します					創部の状態を見て 抜糸していきます	創部の状態を見て 消毒が不要になります
	浣腸をします(リハビリ終了後)	手術用の寝間着に着替え、 弾力ストッキングを着用しま す	酸素マスクをつけています	痛み止めの内服をします			出血の量を見ながら 創部の管を抜きます			合併症なく治療・検査が終了できたら退院になります
検査	血液検査があります			血液検査があります			血液検査があります	血液検査・レントゲン 撮影があります		血液検査・レントゲン 撮影があります
活動・安静度	制限はありません		ベット上安静です ベットの頭部は上げられません	コルセットを装着してベッドを90度 まで起こすことができます。 排便時は、看護師が付き添い、車 椅子で移動します	歩行器又は車椅子で 動くことができます。 歩行器や車いすに移る際は 看護師が付き添いますので お知らせください。				活動範囲の拡大が出来たら退院の調整を始めます	
安全	ナースコールとベット柵を2か所設置します 脱ぎ履きのしやすい運動靴の 準備をお願いします									
食事	制限はありません	0時以降は絶食です 麻酔科の指示により 水分制限があります	お腹の音が確認できたら、水分摂取が できます	朝から食事が開始になります						
清潔	手術に向けてシャワーに 入って、体と髪を洗ってください 爪切りをしてください	洗面・歯磨きをしてください 男性の方は髭剃りを してください		体拭きをします		創の状態が良ければシャワーに入れます				
排泄	制限はありません		尿の管が入ります ベット上で便器を使います	車椅子で排便時のみトイレに行け ます	尿の管を抜きます 車イス又は歩行器でトイレに行けます					
患者様及び ご家族への 説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	病棟の案内をします		痛みが強いときは痛み止めを使いま すので、遠慮なく言ってください							
	術前リハビリがあります		足の血栓症予防の為、足の運動を 行ってください	ベット上でのリハビリが始まります		訓練室でのリハビリが始まります				
	禁煙はできていますか？ 薬剤師が持参のお薬とお薬手 帳の確認を行います 手術に必要な物品が揃ってい るか確認します(すべて名前を 記入して1つの袋にまとめてく ださい)	指輪・時計・コンタクトレン ズ・入れ歯は手術室に行く 前に必ず外してください ご家族の方は整形外科の デイルームでお待ち下さい 席を外される際は必ず 看護師にご連絡ください。	手術が終わり次第、主治医から家族へ の説明があります。 IVPCAの適応の方は、ポンプの使用方 法について看護師から説明があります 手術が終わり面会が可能になりました らお知らせいたします(小さいお子様は ご遠慮ください)			歩行が可能となり、 医師の許可が出れ ばストッキングを外 せます	退院後の注意点 について説明します		薬剤師より退院処方についての説 明があります 診断書・証明書が必要な方は早め に提出してください 退院後にご不明な点があれば、 整形外科外来もしくは病棟へご連絡 下さい。連絡先は、退院指導パンフ レットを参照下さい	
	担当の医療ソーシャルワーカー ()がお話を伺いながら、転院・退院までの支援を行います									

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。

久留米大学病院 整形外科 西棟9階病棟
2023. 7改訂